

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業構想【看護／成人看護】

1 単元名

「健康レベルや障害の状況に応じた看護」

2 単元目標

- (1) 健康レベルや障害の状況に応じた看護について関心をもち、患者の安全・安楽を守り、回復の促進または穏やかな最期を目指し、課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことができる。
- (2) 健康レベルや障害の状況に応じた看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。
- (3) 健康レベルや障害の状況に応じた看護について関連する技術を身に付ける。
- (4) 健康レベルや障害の状況に応じた看護について理解することができる。

3 単元の指導計画（6時間）

- (1) 急性期・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 慢性期・・・・・・・・・・ 1時間
- (3) 終末期・・・・・・・・・・ 1時間
- (4) リハビリテーション看護・・・ 1時間
- (5) がん看護・・・・・・・・・・ 2時間（本時）

4 本時の目標（本時5・6時間／6時間）

- (1) がん患者の自己管理に必要な看護支援について関心をもち、意欲的に考えることができる。
- (2) 患者・家族の価値観や心情に寄り添い、QOLを重視した視点から捉え、検査や疾患の説明を受ける患者・家族の支援及び治療を選択する意思決定支援について考えを深めることができる。

5 授業展開

本時の課題	化学療法中にある患者の事例から、がん看護について考えよう
-------	------------------------------

事前学習	<p>① 既習事項や臨地実習での体験を基に、資料A（胃がん・乳がんの生存率5年・10年生存率）、資料B（世論調査「仕事と治療の両立についての認識」「両立を困難とする最大の要因」）について読み取れることと自分の考えをまとめる。[ワークシート]</p> <p>② 成人期にある人（保護者、18歳以上）を対象に、「もし、自分が体調不良で病院を受診し、医師よりがんの宣告を受けたら、どのような不安を抱くか」についてインタビューを行い、原稿用紙400字程度にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><b>予想される生徒の気付き</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・ 検診による早期発見が成人の健康の保持増進につながる</li><li>・ 仕事と治療の両立に不安を抱く者が多く、就労を維持するための情報提供や、がんサバイバーシップの概念について医療従事者自身が深い理解をもつ必要がある</li></ul></div>
------	---

導入 (10分)	<b>1分間スピーチ</b> ・数名の生徒が事前学習②についてスピーチを行い、がんを宣告された時の不安を共有する。
展開1 (20分)	<b>チーム基盤型学習 (TBL)</b> ・グループ (5～6人) で資料A, Bについて意見交換を行うことを通して、がん診断と治療に伴う患者の認識について資料を基に分析し、多面的・多角的に情報を捉える。 ・他者の考えとの違いに気付き、がん看護の在り方を探究する。 ※教員はファシリテーターとして生徒のグループ学習を促すような声かけをしながら各グループを巡回し、生徒の気付きがねらいと合ったものになっているか確認する。
展開2 (20分)	<b>ブレインストーミング</b> ・展開1で得た意見や情報を付箋紙に全て書き出し、患者に対する看護の在り方を探る。
展開3 (20分)	<b>治療に関する倫理的問題の検討</b> ・展開2で導き出した問題について、資料C (化学療法中の患者に対し、採血やMRI等の治療結果について医師から情報提供がなく、病状に対して不安を抱き、治療を中断したいと訴えてきた事例) と関連付けながら学習を発展させ、がんの診断と治療に伴う看護についてグループでまとめ、模造紙に整理して発表する。  <b>予想される生徒の気付き</b> ・具体的な事例から、がん看護とは何か、患者個人の考えが尊重されるような対応について思考し、患者の自己決定権の尊重を促すこと ・患者自身が処方されている薬について理解し、自己管理できるよう医師や薬剤師など多職種とも連携しながら働きかけることが必要であること
展開4 (20分)	<b>学習内容の統合</b> ・クラスメイトの発表から理解したことや疑問点についてグループで発表し、新たな課題解決に向け、自らの学習活動を振り返る。 ・本時で得た知識を今後の看護活動につなげる機会とする。
まとめ (10分)	本時の授業を振り返り、要点整理を行う。

## 6 本時の評価規準

(1) がん患者の自己管理に必要な看護支援について関心をもち、意欲的に考えようとしている。

[関心・意欲・態度]

(2) 患者・家族の価値観や心情に寄り添い、QOLを重視した視点から捉え、検査や疾患の説明を受ける患者・家族の支援及び治療を選択する意思決定支援について考えを深めている。

[思考・判断・表現]